

総務社会委員会

臨時・嘱託職員を会計年度任用職員へ
雇用制度改革の例規整備等に172万円

● 税条例等の一部を改正する条例

平成30年度税制改正に基づき改正。給与所得控除及び公的年金控除額を一律10万円引き下げ、基礎控除の控除額を10万円引き上げるといふもの。また、たばこ税を3年に分けて60円引き上げるのが主なもの。

問 今回の税制改革で試算をしたか。

答 個人住民税は少し減少する程度。

▽委員長を除く委員全員の賛成により可決。

● 一般会計補正予算(第5号)

歳入歳出それぞれ7023万4千円を増額し、歳入歳出予算総額を、63億4521万6千円とするもの。

総務課関係

業務委託料172万8千円の増額は、会計年度任用職員の制度化に伴う例規の整備及び制度の構築等。ケーブルテレビ白馬の備品購入費129万6千円の増額、ふるさと納税報償費500万円の増額。移住・交流・集落支援

事業は支援員の減員に伴い288万3千円の減額。

問 当初予算で80万円計上している姉妹都市提携事業の増額理由は。

答 当初は姉妹都市提携35周年記念事業として、桜の時期に行く予定で計上。今回の補正は、河津町の方から60周年記念のふれあい祭りに参加依頼があり計上。

問 現在の臨時、嘱託職員と会計年度任用職員は何か違うのか。

答 今回の法律の改正は、全国的に臨時、嘱託職員が増加している中、正規職員以外の職員の法律の規定が明確化されていないため、国が整理見直しをした。今後は定期昇給、賞与及び雇用試験の仕方等大幅な例規整備が必要のため。

問 業務委託費172万円の内容は。

答 村の非正規職員の雇用状況を委託業者と共に例規整備を行うため。

住民課関係

後期高齢者医療事業21万円増額は、システム改修に伴うもの。

健康福祉課関係

心身障害者福祉事業17万2千円の増額は、福祉法

改正に伴うシステム改修費。乗合タクシーの先進地視察はどこか。

答 茨城県東海村を予定。車両にタブレットを置き、地図情報を用いてセンターと交信し時間の短縮と効率化を図っている。

問 舗装工事の変更に伴い学校給食センター建設事業324万円増額は。

白馬高校支援事業の講師の報酬等に528万9千円の増額。舗装工事の変更などに伴う学校給食センター建設事業に324万8千円の増額。

問 ランチルームとの間は日陰になり、舗装すべきでは。調整が可能であれば、考えていきたい。

答 舗装工事をなぜ細分化して転圧工事までの予算化したのか。

30年度に備品等の購入事業があるため、起債をする時に建設工事が入っていないと備品等の起債に充てられないからあえて舗装工事を後にした。

問 小学校の給食センターの廃品備品は多目的ホールで使用できないか。

答 廃品は業者に処分させる、多目的で使えるかは総務課と相談する。

問 子育て支援課関係

しろうま保育園運営事業151万3千円の増額は、村外保育園の入所に伴う委託料及びエアコンの設置等。幼稚園就園奨励事業108万6千円の増額は、申請園児の増加に伴うもの。

問 幼稚園就園奨励事業の増額は、ほぼすべての園児が対象になっているのか。

答 75名中60名約8割。

問 生涯学習スポーツ課関係

図書館事業98万9千円の増額は、有識者会議の旅費及び図書館玄関の修理等。

問 現在の図書館の後利用は。また、今の図書館の修繕は最小限にすべきでは。

答 現時点では計画がないが、個別計画で考える。

今回の修理はタイルの破損が広がらないよう最小限の修繕。

▽委員長を除く委員全員の賛成により可決。

● 国民健康保険事業勘定特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出それぞれ2064万8千円を増額し、歳入歳出予算総額を、11億4764万8千円とするもの。療養給付費負担金等償還金の精算が主なもの。

▽委員長を除く委員全員の賛成により可決。

● 後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出それぞれ21万円を増額し、歳入歳出予算総額を8951万円とするもの。

▽委員長を除く委員全員の賛成により可決。

● 陳情第6号 私立高校に対する公費助成をお願いする陳情書

公立高校との学費格差をなくし、公教育の一翼を担う私学振興のために、私立高校への就学支援制度の拡充、経常費補助の増額及び施設、設備費の補助を求める陳情。

▽委員長を除く委員全員の賛成により採択。